

こんにちは 協和特別支援学校 進路指導部です

栃木県立那須特別支援学校のホームページでこんな記事を見つけたのでご紹介させていただきます

進路指導は、学校卒業後の進路先を決定するだけのものではありません。進路指導という言葉、広い意味で捉えた「進路指導は生き方の指導である」という言葉があります。一人一人が社会の中でそれぞれのもつ力を十分に発揮し、豊かで充実した生活が送れるように指導・支援していく、という視点が重要であると考えます。

また、「進路指導は小学部の時期から始まっています」という言葉も、よく耳にする言葉です。しかし、「子供はまだ小学部だから、将来の進路なんてイメージできない」とおっしゃる保護者等が多いのも事実です。

卒業後の生活を豊かで充実したものにするために必要とされる力は「働く力」だけではありません。

- ・食事やトイレなどの身の回りに関する「生活する力」
- ・挨拶や返事からはじまる「コミュニケーション能力」
- ・「余暇活動を楽しむ力」

など、多岐にわたります。これらの力は、学校卒業が目前に迫った高等部の3年間だけで身に付くものではありません。それぞれの年齢段階で、その時々の課題をクリアしていくこと、その時々の生活の充実を目指し、それを積み重ねていくことが大切です。

進路指導は、何も特別なことではありません。日々の生活の充実を目指し、それを積み重ねていくことが、将来の豊かで充実した生活に結び付いていくのです。小学部から高等部まで共通したものとして、次の2点を大切にしたいものです。

- ・自分のことは自分でやろうとする気持ちを育てましょう。
- ・身の回りのことをはじめとして、一人でできることを少しずつ増やしていきましょう。

協和特別支援学校のキャリア教育

体験的な学習をととして、

卒業後の生活の在り方 = 進路 を考えていきます。

キャリア教育のポイント

小学部	基本的な生活習慣を整える 身辺処理能力を高める 挨拶・返事ができる（自分なりの方法で） 係活動で取り組むことや責任感を育てる 友だちと仲良く過ごす 他者と協力する 約束や決まりを守る さまざまな経験を広げる
中学部	必要に応じた挨拶や返事 時間や時刻を意識した行動 与えられた役割を意識し、責任をもって取り組む 作業学習や職場体験で働く意味を知る 自分のことを知る 知識と経験を結びつける 経験をさらに広げる
高等部	基本的な生活習慣の定着 働く適性を知る 役割を理解し、責任をもってやり遂げる 自分自身の特徴を明確にする 卒業後に活かせる余暇活動を見つける 知識と経験を深める 自立と社会参加を実現する

キャリア = 経験 と捉え、学習活動を展開する